

## 平成30年第1回定例会(平成30年3月12日)

厚生環境教育委員会委員長 (松川 章三 委員長)

去る3月6日の本会議において、厚生環境教育委員会に付託を受けました『議第1号 平成29年度別府市一般会計補正予算(第5号)』関係部分ほか9件、及び請願第1号について、3月7日に委員会を開会し、慎重に審査をいたしましたので、その経過と結果についてご報告いたします。

はじめに『議第1号 平成29年度別府市一般会計補正予算(第5号) 関係部分』についてであります。

「市民課」関係では、マイナンバーカード等へ旧姓併記を行うためのシステム等改修事業では、国の補助金配分による予算の一部を繰り越す旨の説明が、次に「環境課」関係では、「家庭用燃料電池システム」を普及促進するための補助金交付事業について、年度内に交付できないケースに対応するために予算の一部を繰り越す旨の説明が、「保険年金課」関係では、歳入として保険基盤安定負担金の減額や後期高齢者医療保険基盤安定負担金の追加額など、歳出としては主に国民健康保険事業特別会計への繰り出し金の減額、さらにシステム改修が年度内に完了しないことに伴う特別会計への繰出金の一部を繰り越す旨の説明がなされました。委員からは、別府市における国民健康保険ならびに後期高齢者医療における被保険者数の推移などについて縷々質疑がありましたが、当局の説明を了といたしました。

次に「福祉政策課」関係では、平成28年熊本地震の被災者に対する住宅再建支援に関して、一部被災者より被災住居の修繕および建替えを行わないとの申し出に伴う災害被災者住宅再建支援金の減額と、それに伴う県補助金の減額を計上、さらに被災者のうち今年度中に修繕等の工事に着手できていないなどの被災者に対し、引き続き支援を行うための繰越明許費を計上する旨の説明がなされました。

委員からは、熊本地震の被災者に対し、引き続き最後まで支援をお願いしたい旨の要望がなされました。

次に「ひと・暮らし支援課」関係では、平成26年4月の消費税率引き上げに伴い、臨時的措置として実施した「臨時福祉給付金事業」ならびに年金生活者等を支援するために実施した「年金生活者等支援臨時福祉給付金事業」の各補助金の精算に伴う国庫返納金などを計上、「障害福祉課」関係では、バリアフリールーム改修事業にかかる減額補正や、介護支援や訓練的支援を必要とする利用者数の増加に伴い自立支援給付に要する経費の追加額を、ならびに日常生活などの訓練を必要とする障がい児に対する障がい児通所給付費の追加額な

どを計上する旨の説明がなされました。

委員からは、バリアフリールーム改修事業の実績やグループホームの消防設備などの現状について質疑がなされ、当局からは、当初のアンケート調査では希望する施設は相当数あったものの、バリアフリールーム改修事業のこれまでの実績は2件であるとの回答がなされました。

次に「子育て支援課」関係では、南須賀保育園の建て替えのための整備費補助金について、予定していた仮設保育園の設置場所の確保が困難となったために伴う減額などを計上、「高齢者福祉課」関係では、ひとまもり・おでかけ支援に要する経費について、バス回数券の販売が当初見込みの約4割程度にとどまっていることに伴う減額などを計上、「健康づくり推進課」関係では、土日・祝日において、内科・小児科診療を行う医療機関の開設数の実績が減少したことに伴う「緊急医療に要する経費」の減額などを計上、「教育政策課」関係では、各事業における入札残や、新電力への切り替えに伴う光熱水費の減額を、また関係する地方債の減額を計上、「学校教育課」関係では、預り保育に要する経費について、新たに国・県の補助金などを計上する旨の説明がなされました。

委員からは、預り保育と学童保育の今後の見通しについて質疑があり、当局から、預り保育は現行の4園に加え、平成31年度より境川幼稚園での実施を予定し、今後は預り保育と学童保育を一体的に運用し、行き場のない児童をなくすために全力を尽くすとの回答がなされました。

「社会教育課」関係では、現在修復整備をおこなっている、明礬の「湯の花小屋」について、今年度中の修復に必要な資材が台風の影響により入手困難となり年度内に完了できなくなったため、かかる予算の一部を加えた繰越明許費の補正を計上、その他関係各課における全体的な補正内容といたしましては、決算見込みや入札結果による係数整理をはじめとし、各種サービスの利用・受給者の増減、国・県からの補助金等の追加及び返納、財源補正などを行ったとの説明が詳細になされました。

採決におきましては、当局の説明を適切・妥当と認め、全員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

続きまして、保険年金課関係の『議第2号 平成29年度別府市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)』および『議第6号 平成29年度別府市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)』についてであります。

まず『議第2号』では、決算見込みによる所要額の調整が主でありましたが、大きな要因として、平成28年10月の社会保険適用が拡大された影響により被保険者数が当初の見込みより減少したため、交付金や医療費などの減額を計上、また『議第6号』では、システム改修に伴う追加額および、低所得者の保

険料軽減に対する公費負担の確定による追加額などを計上する旨の説明がなされました。

採決におきましては、『議第2号』および『議第6号』については、いずれも原案のとおり、可決すべきものと決定いたしました。

次に、高齢者福祉課関係の『議第5号 平成29年度別府市介護保険事業特別会計補正予算（第3号）』では、主に各種介護サービスの利用者等が増えたことに伴う追加額や、またそれに伴う国・県の負担金の追加額などを計上する旨の説明がなされました。

採決におきましては、全員異議なく可決すべきものと決定いたしました。

引き続き予算外の議案についてですが、『議第22号 別府市いじめ対策委員会等設置条例の制定について』、『議第23号 別府市国民健康保険条例及び別府市国民健康保険税条例の一部改正について』、『議第24号 別府市後期高齢者医療に関する条例の一部改正について』、『議第26号 別府市指定地域密着型サービスの事業に係る申請者の要件並びに人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例等の一部改正について』、『議第27号 別府市指定居宅介護支援の事業に係る申請者の要件並びに人員及び運営に関する基準等を定める条例の制定について』、『議第36号 別府市営セーリング艇庫の長期かつ独占的な利用について』までの、以上6議案については、当局の詳細な説明を適切・妥当と認め、いずれも全員異議なく可決すべきものと決定した次第であります。

最後に『請願第1号 精神障がい者に対する公共交通機関の運賃割引の適用を求める意見書に関する請願』についてであります。

審査にあたっては、あらかじめ請願者から提出された補足資料などを参考に、慎重に審査を行いました。

請願の趣旨である、精神障がい者に対しても、身体および知的障がい者と同様に、公共交通機関の運賃割引の適用を求めることに賛同出来るとして、採決におきましては、反対者もなく、全会一致で採択すべきものと決定した次第であります。

以上で当委員会に付託を受けました議案に対する、審査の概要と結果の報告を終わります。

何とぞ、議員各位のご賛同をよろしくお願いいたします。